



6/9 Hirado City Photo News  
元気な取組に大声援



生月町相撲道場(生月町中央公民館横)で「白山・住吉神社奉納大相撲」(吉部浦青年会主催)が開催されました。

この奉納相撲は、100年以上の伝統があり、商売繁盛・大漁満足・五穀豊穡・海上安全・無病息災および祈願成就を目的として毎年行われています。幼稚園・保育園児の花相撲や幼児土俵入りのほか、小・中学生の取組が行われました。大勢の見物人で埋め尽くされた会場では、白熱した取組に皆さん大きな声援を送っていました。

5/29 Hirado City Photo News  
栄西禅師とお茶に感謝して



木引町の千光寺で「献茶式」が開催されました。献茶式は、平戸に「茶」の種を伝えた栄西禅師の功績をたたえとともに、長崎県産茶の発展を祈念して、毎年行われています。当日は、県内各地で摘まれた今年の新茶を、茶娘が急須で注ぎ、住職が献茶した後に、来賓の人たちにも新茶が振る舞われました。

県茶業協会会長の渡邊悟東彼町長は「今年は長崎県でお茶の全国大会が開催されるので、これまで以上に長崎県産茶のPRや普及活動に取り組んでいきたい」と話しました。

5/28 Hirado City Photo News  
多大な功績を称えて



按針塚にて「第23回按針忌」(国際交流HIRAの会主催)が開催されました。イギリス人武士・三浦按針の命日を按針忌とし、平成7年から毎年行っており、今回で23回目を迎えました。

江戸時代、徳川家康の外交顧問として、砲術、天文学、造船術、航海術などを日本にもたらし、平戸にイギリス商館やオランダ商館を設置し、海外との交易の礎を築いたことは、彼の多大な功績であります。その功績をたたえ、関係者が参列し、献花を行いました。

6/11 Hirado City Photo News  
誰もが住みたくなるまちへ



平戸文化センターで第12回平戸市「少年の主張」大会が開催されました。

市内の小中学校の代表26人が将来の夢や、日々の生活のなかで感じたことを自分のことばで伝えていました。小学生の部では、「未来の平戸市」をテーマに、中学生の部では、自分たちが社会に対して日ごろ感じていることなどを表現していました。

【最優秀賞】「小学生の部」白石翼さん(大島小6年)  
「中学生の部」大石佳奈さん(南部中3年)  
【特別賞】池田みほさん(中部中3年)

6/10 Hirado City Photo News  
民生委員制度創設100周年



平戸文化センター大ホールで「民生委員制度創設100周年記念大会」(平戸市民生委員児童委員協議会連合会主催)が開催されました。

講演では、まず元長崎国際大学教授の山本主税さんが講演を行いました。続いて全盲のシンガー・ソングライターの立木早絵さんが記念講演を行い「日本はバリアフリーは進んでいるが、心のバリアフリーはまだ進んでいない。心のバリアフリーが進めばもっと素晴らしい国になる」と、助け合いの精神を持った社会づくりの大切さを話しました。

5/26~28 Hirado City Photo News  
今年で63回目伝統ある津吉茶市



津吉町一帯で「第63回津吉茶市」が開催されました。地元の特産品をはじめ、やきとり、やきそば、ソフトクリームなどが販売され、地元や九州各地から集まった露店約70店が軒を連ねていました。

今年は、大道芸人ショーや歌や踊りなどのほか、昨年子どもたちからリクエストがあったボールプールや巨大迷路なども設置されたり、その他にも釣り体験や野球大会など盛りだくさんの催し物などが行われ、津吉地区一帯は、朝から夜まで大いににぎわっていました。

5/27 Hirado City Photo News  
中津良川のほたるを見ながら



上中津良公会堂で「中津良川ほたるまつり」が開催されました。

当日は、詩吟やコーラス、尺八などの演奏、地元の子どもの踊り、カラオケ大会など多彩なステージイベントのほか、うどんややきそばなどの軽食、ジュースなどの販売や、地元で獲れたほたる米など特産品の販売なども行われました。

また、今年度で閉校を迎える中津良小学校の全校生徒によるダンス披露では、息のあった踊りに会場のお客さんは、魅了されていました。